



アグアスだより



令和5年度1月号

令和6年1月8日(月)発行

あけましておめでとうございます。「挑戦し飛躍する年に！」

新年あけましておめでとうございます。穏やかな新春を迎え、皆様方にはますます御健勝のこととお喜び申しあげます。2024年、令和6年の幕開けです。本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

「一年の計は、元旦にあり」と言われます。今年の年初にあたって、それぞれの御家庭、それぞれの皆様の目標を設定されたことと思います。学校においても、この後期、そして、令和6年の目標をしっかりと定めて、進んでいきたいと考えています。

今年は辰年です。辰・龍は想像上の動物で実在はしていません。干支(えと)の中で実在していない動物は、唯一龍だけです。龍は古代中国では身近な生き物で、実在すると考えられていました。権力の象徴とされています。そのため架空の生き物ではありますが、十二支の中に含まれているようです。辰は十二支の中で最も縁起の良い干支と言われており、様々な願いを叶えてくれるだけでなく、あらゆる物事をいい方向へ導いてくれる力があるとされています。

今年はメジャーリーガーの大谷翔平選手の話がたくさん取り上げられていますが、昭和の日本を代表する野球選手の話聞いたことがあります。その選手は、自分が打たないと負けてしまうような緊張する場面で良い結果を出して、スーパースターになっていったのです。周りの人々は、緊張しないのかなと不思議に思っていました。その選手は「ここで僕がホームランを打ったらヒーローだ。」と良いイメージをもって、にこにこして打席に入っていたのだそうです。「ここで打てなかったら負ける。自分のせいだ。」と考える人がいれば、「ここで僕が打ったら勝てる。」と考える人もいます。どちらが良い、悪いではありません。でも、何かに挑戦する時や不安になる時に、自分が成功するイメージをもつことはとても有効です。自分を前向きに高める

ことができるからです。自分を肯定することにもつながります。自己肯定感に裏打ちされた「自己有用感(自分はみんなの役に立っている。自分は大切な存在だ。)」は、人が明るく前向きに生きていくうえでとても大切なキーワードです。

自分の良いところ、頑張ったところに目を向けられるようにしていきたいものです。今年度残りの1月から3月までの期間は、よく、1月は「行く」、2月は「逃げる」、3月は「去る」といわれています。

「1月」は正月や新年の挨拶回りに忙しい月で、「行ってしまう」ように過ぎ去ります。「2月」は基本28日までしかないので、余計に短く感じるでしょう。まさに「逃げる」が如しです。「3月」は年度末でとても忙しく、「去る」ように過ぎてしまうことをいうのでしょうか。今年度の授業日数は、中学部3年生・小学部6年生は45日、その他の学年は46日です。残りわずかとなった今年度の一日一日を大切に、多くの子どもたちが、様々なことに**挑戦し、飛躍**してほしいと思います。

昨年に引き続き本年度も、さらに大きく成長し、高くステップアップできる一年となるよう、教職員一同、全力で教育活動を推進してまいります。本年も、保護者の皆様の御支援・御協力をよろしくお願い申し上げます。

(教頭 古川 英治)



1月行事予定

- 5日(金) 補充学習
- 8日(月) 全校朝会
- 9日(火) 書き初め会・お正月の集い
- 10日(水) 後期委員会⑤・CRT学力検査(小)
- 11日(木) CRT学力検査(小)・実力テスト(中)
- 12日(金) 防災訓練(火災②)
- 16日(火) シェイクアウト訓練⑥
- 17日(水) 後期クラブ活動⑤
- 19日(金) 英検一次
- 20日(土) 漢字検定
- 24日(水) 後期委員会⑥・カレーの会(PTA)
- 29日(月)～2月2日(金) 教育相談週間
- 30日(火) 音楽集会⑦
- 31日(水) 後期クラブ活動⑥

研修について

令和5年度も残すところ約3か月あまりとなりました。本年度も、本校では「国際性豊かで『知・徳・体』調和のとれた日本人の育成」を教育目標に、教育活動に取り組んでまいりました。

学校だより8月号でもお知らせしました通り、本年度は昨年度に引き続き「表現力を身につける学習指導の在り方～互いに学び合い、認め合い、深め合う学習を通して～」を研究主題として校内研修を進めてまいりました。途中経過を報告いたします。

「基礎基本研修部」では昨年度から取り組んでいる「声のものさし」を継続して各学級に掲示し、思いや考えを伝える基盤となるような力の定着を図ってきました。児童生徒の様子から、昨年度より話し合いや発表の際の音量を意識している様子が伺えます。児童生徒および教職員へのアンケート調査を通して成果の検証をし、来年度以降の指導に繋げていきたいと思っております。

「ミニ研修部」では、全教員を対象にこれまでに3回のミニ研修を企画しました。Colegio Francés Hidalgo(以下、フランス校)との交流に向けた基本情報や、図書室の正しい使い方、アグアスカリエンテス日本人学校で働くことについて全教員で情報を共有する機会になり、児童生徒へ様々な教育活

動を通して還元することができたと感じています。1月以降も有意義な情報共有の場として適宜ミニ研修を設定していきます。

「授業研究部」では、校内研修の要となる研究授業に向けた取組として指導案の雛形と事後研修の実施方法について検討しました。授業の重なり等で全教員が研究授業を参観することは難しいため、各授業のビデオを撮影し、事後研修までに全教員で授業の様子を見ることができるようになりました。研究授業については小学部下学年部、小学部上学年部、中学部の各学年ブロックで指導案の検討を重ね、4回の研究授業を実施しました。小学部5・6年生体育と中学部数学の授業にはフランス校の先生も来校し、簡単な意見交換等も行うことができました。研究授業の概要は以下のとおりです。

○小学部3年生 道徳 授業者：横山教諭

「橋」 交流の輪を広げるために、私たちにとって大切なことはなんだろう。

○小学部5・6年生 体育 授業者：村上教諭

「プレルボール」 得点につながりやすい攻撃を考えよう。

○小学部6年生 社会 授業者：鶴谷教諭

「明治の国づくりを進めた人々」 2つの写真から気づいたことを発表し学習問題をつくろう。

○中学部全学年合同 数学 授業者：土井教諭

「いろいろな式の作り方を考えよう」

今年度は上記の研究授業ごとに、全教員参加の事後研修の時間を設定しました。ワークショップ型を初めて導入し、表現力を主眼に校種を超えた意見共有をすることができました。事後研修を通して得られた知見を今後の指導につなげていきたいと思っております。

フランス校との交流では、12月までにお互いの学校行事における交流を6回実施しました。1月以降も「書初め会」や「友情の日」など4回の行事を通して積極的に交流の機会を設定していきます。

おかげさまで、本年度もここまで研修を進めることができました。校内研修での学びをこれからの教育活動に生かしていきたいと思っております。今後ともよろしく願いいたします。

(学習研修部 高橋 改太)

令和5年度 学校評価アンケート（保護者）集計結果

No.	質 問 内 容	回 答 欄			
		A	B	C	D
	A:あてはまっている B:やや あてはまっている C:あまり あてはまらない D:あてはまらない				
1	子どもたちは、学校へ行くのを楽しんでいる。	78.7%	17.0%	4.3%	0.0%
2	先生は、子どもをよく理解している。	74.5%	23.4%	2.1%	0.0%
3	先生は、子どものことをよく支援している。	78.7%	21.3%	0.0%	0.0%
4	先生は、子どもが楽しく学べるように授業を工夫している。	82.6%	17.4%	0.0%	0.0%
5	先生は、子どもが自ら発表しやすいように授業を工夫している。	73.3%	24.4%	2.2%	0.0%
6	先生は、適切に「いじめ」や子どもたちのトラブルに対処している。	68.9%	24.4%	6.7%	0.0%
7	学校行事は、子どもの心身を成長させている。	91.5%	8.5%	0.0%	0.0%
8	私の子どもは、他の子どもに思いやりをもって接している。	51.1%	44.4%	4.4%	0.0%
9	学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。	53.2%	36.2%	10.6%	0.0%
10	学校は、子どもたちの体力を向上させている。	55.6%	28.9%	13.3%	2.2%
11	学校は、子どもたちの安全・安心を第一に、危機管理をしている。	78.7%	21.3%	0.0%	0.0%
12	学校は、家庭への連絡をきめ細かく行っている。	66.0%	27.7%	6.4%	0.0%
13	学校は、将来の夢や進路について適切な指導を行っている。	58.5%	36.6%	2.4%	2.4%
14	学校は、伸び伸びした雰囲気です、子どもたちは生き生きとしている。	86.7%	11.1%	2.2%	0.0%

御意見・御感想

- ・メキシコの地で、体を動かす機会を作ることは、本当に大変なことだと思います。クラブ活動がないことは、体力向上に対し不利ですが、学校は良くやってくれていると思います。(中3)
- ・中3の担任の先生は1年度目の先生ではなく、2年度目など少し慣れた（環境などに）先生が向いていると思います。中村先生が向いてないという事ではなく、生活にも慣れ、学校にも慣れた先生が良いと思います。(中3)
- ・兄弟がいるので、どちらの担任に対して丸付けすればいいかとても難しいので、子ども一人ずつだと評価しやすかった。(中2)

- ・多くの質問内容は、直接知る機会が少なく、正直回答に苦慮するものである。一方で、先生方皆様も慣れない海外生活をしながら子どもたちへご指導いただいていることには大変感謝しております。(中2)
- ・いつもご指導いただきありがとうございます。先生方のおかげで、安心して楽しく通うことができています。(中1)
- ・いつもお世話になっております。上記厳しい採点もあると思いますがご容赦下さい。コロナ渦以前に体制を戻そうとして頂いてる事、また息子に愛情注いで教育して下さっている事、非常に感謝いたします。(小6)
- ・小6のクラスルームで鶴谷先生が細やかにコメントして下さるので、クラスの雰囲気や様子が伝わってきます。親の私も毎日楽しみにしています。小3の音読で、シールのごほうびをもらえるのおかげで、毎日楽しく宿題に取り組んでいるようです。先生方、いつもどうもありがとうございます。(小6)
- ・いつも子ども達のために、全力を尽くしてくださり、ありがとうございます。これからもよろしくお願い致します。(小5)
- ・いつも本当にありがとうございます。引き続き、いろいろな経験をして、たくさん成長して行ってほしいです。どうぞよろしくお祈りします。(小5)
- ・今後も引き続き、子ども間どうしのトラブルが起きた際には、両者の話をよく聞いて頂き、学校での様子を観察した上で、平等な立場で問題解決に取り組んで頂きたいと思っております。(小5)
- ・問題行動があった児童に対する今後の対応が知りたいです。先生方全員が見守っていただけることに安心でき、娘も少しずつ前向きになり、成長しているように感じています。今後ともよろしくお願い致します。(小5)
- ・学校はとてもアットホームな雰囲気です、すぐになじんで、楽しく登校しており、とてもありがたいです。6月に運動会、10月に学習発表会と行事が分散しており、子どもの目標が明確に持てて、とても良かったです。あゆみの評価の観点の内容が教科によって細かさにはばらつきがあり、違和感がありました。「書く事」の指導に力を入れてもらえるとうれしいです。(小4)
- ・メールの一斉送信について、届かないという不具合は解決済みでしょうか。今年4月に新一年生になるご家庭対象の入学説明会案内メール、届かなかったご家庭があったとお聞きしました。在校生への対策はGoogle クラスメールを使うことでなされていると思いますが、新入、転入生、部外者への対策が未解決でしたら、新入、転入生へは、一斉送信機能を使われない等、確実に情報が伝わるように対応して頂きたいなと思っておりました。(小3)
- ・他学年や、先生との交流が活発で好印象でした。本人だけでなく、弟の方にも声をかけていただけた事が嬉しかったです。(小2)
- ・息子のことをよく理解して、対応して下さり感謝しております。(小1)

今回の「学校だより（1月号）」では、10月に行いました学校評価の保護者アンケートの集約結果と御意見と御感想についてお知らせいたしました。次号「学校だより（2月号）」では学校評価の児童生徒アンケートの集約結果をお知らせいたします。

今後も皆様方の御意見や御感想を参考によりよい学校づくりを進めて参ります。「子どもたちの健やかな成長」のために御支援・御協力のほどよろしくお願い致します。